

# レビュー委員会対応へ向けた 論点について

# レビュー委員会 (RevCom) での審議状況

レビュー委員会は、ICTの継続的発展の促進や市場ニーズへの対応のため、ITU-Tの構造や標準化の検討手法、他の標準化団体との連携・協力機能等を再検証し、2016年のWTSA\*へ提案する改革案を議論。2012年11月のWTSAにおいて、我が国からの提案で設置が決議された。2013年6月以降、現在までに4回実施され、活動期間は、2016年のWTSAまでの予定。議長は、TTC 前田専務理事。

※世界電気通信標準化総会 (World Telecommunication Standardization Assembly) : ITU-Tにおける標準化活動の方向性を決める最高意思決定会議で、4年に1回開催。

**レビュー委員会の審議状況** 以下のポイントを中心に5月末からのRevCom・TSAG会合で継続審議される。

## 1) ITU-Tの標準化戦略機能の強化

- ITU-Tによる市場動向・技術動向を捉えた戦略的分析の実施、それに基づくITU-Tの標準化戦略の策定機能の強化が必要であるとして、我が国から新組織(Technical Standard Strategy Team)の設置を提案。TSAGが有する戦略策定機能の活性化を図るために、TSAGの下にグループを設置する方向で検討。

## 2) FG(フォーカスグループ)成果文書の勧告化作業への迅速な移行実現

- FGの成果物の勧告化の迅速化を図るため、FG成果物の作成方法に関するガイドライン案を検討。

## 3) ITU-Tの組織構成の見直し

- 各SGの標準化活動状況等を分析した上で、ITU-Tの価値向上、検討の効率化、財政改善に貢献する組織構成案の検討を加速することを確認。
- 第4回会合に英国が「SG2とSG3の統合」「SG9とSG16の統合」「JCAやFG等その他グループの見直し」「地域グループの見直し」を提案。今後、継続審議することとなった。
- 第4回会合に韓国が「分野横断的な課題に対応する新型SGの設置」を提案。次回、より具体的な提案が行われるが、IoT・ITS・次世代モバイル(5G)が候補となり得ることが確認された。

# RevCom対処へ向けた論点

## 【現在の組織構成の見直し】

- ITU-Tの活性化のために、どのような組織改正が望ましいか。
- 他国からの組織改正案にどのように対処するか。
  - SG2(サービス提供の運用側面・電気通信番号管理)とSG3(料金・会計原則)の統合
  - SG9(映像・音声伝送及び統合型広帯域ケーブル網)とSG16(マルチメディア)の統合
  - FG・JCA・GSI※等その他グループの見直し
  - 地域グループの見直し

※ FG(Focus Group): ITUのメンバー以外も参加できる時限的な組織。成果物として、技術仕様書、ギャップ分析等を作成する。勧告策定機能は持たない。

JCA(Joint Coordination Activities): ITUのメンバー以外も参加できる。ITU-Tにおける標準化活動の協調の改善、標準化計画作成を目的とする。勧告策定機能は持たない。

GSI(Global Standards Initiatives): JCAが設立するものであり、JCAに関連して開催されるSG会合等の総称。

## 【新規技術課題への対応】

- 分野横断的な課題に対応する新SG設置提案に対してどのように対処するか。
  - 第4回レビュー委員会で、新SGのテーマ候補として、IoT・ITS・次世代モバイル(5G)が挙げられており、WTSA16前の試験的な導入が提案される見込み。
  - 次世代モバイルについては、4月のSG13会合(4/20~5/1)において、FGの設置が議論される。
  - FG SSC(スマートサステナブルシティ)とFG SWM(スマートウォーターマネジメント)の活動終了に伴い、New SG on smart cities and communities & IoTの設立提案が行われる可能性がある。

# (参考資料) FG、JCA、GSIについて

## FG

Focus Group

- 勧告策定へ向けた基礎調査、情報収集(勧告は各SGで策定する)
- ITUメンバー以外でも参加可能
- 1~2年で報告書を取りまとめる時限的組織

## JCA

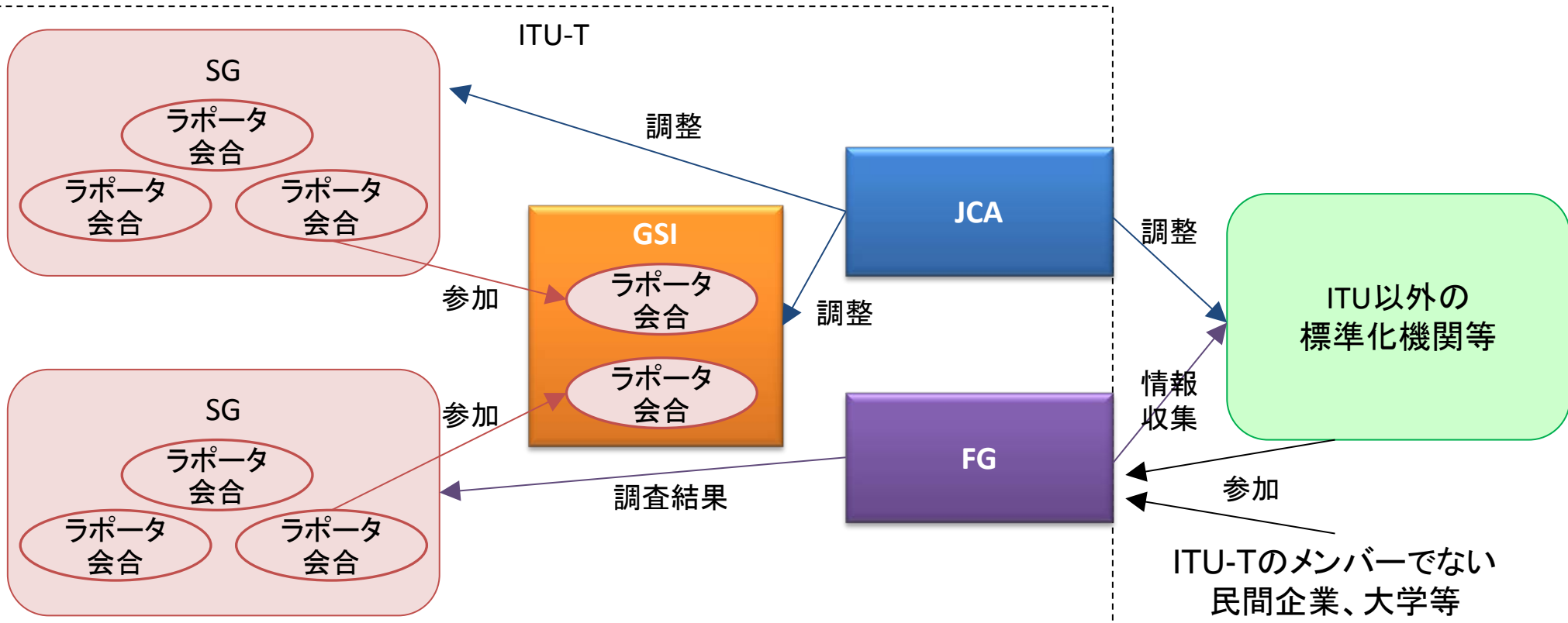
Joint Coordination Activity

- ITU内や他の標準化機関等との調整(勧告は各SGで策定する)
- 関連SGや標準化機関等の代表者で構成

## GSI

Global Standards Initiative

- JCAが設立し、複数のSG会合やラポータ会合が集まるイベントの総称
- 勧告を策定する



# (参考資料) 現在活動中のFG

FG	
<b>FG AC(FG on Aviation Applications of Cloud Computing for Flight Data Monitoring)</b>	
議長: Norizan Baharin (マレーシア)	マレーシア航空機事故を受けた、飛行データのリアルタイムモニタリングのための航空向けクラウドの通信標準に対する要求条件の特定等を目的とする。 [設立:2014年6月 親組織:TSAG]
<b>FG DFS(FG on Digital Financial Services)</b>	
議長: Sacha Polverini (米国)	途上国向けのデジタル金融サービス(携帯電話によるモバイル決済サービス、マイクロファイナンス等)のためのセキュアな通信プロトコル等を検討することを目的とする。 [設立:2014年6月 親組織:TSAG]
<b>FG SWM(FG on Smart Water Management)★</b>	
議長: Silvia Guzman Arana(スペイン)	ICTによる水の管理に関するベストプラクティスの収集、ICTの貢献度と可能性、水の管理にICTを導入することの影響を評価するための主要評価指標(KPI)等を検討することを目的とする。 [設立:2013年6月 親組織:SG5 2015年5月活動終了]
<b>FG SSC(FG on Smart Sustainable Cities)★</b>	
議長: Ramy Ahmed Fathy (エジプト)	環境的かつ持続可能な都市の開発に必要なICTシステムを特定するために、コンセプト、対象範囲、ビジョン、ユースケース等を検討するとともに、都市の環境持続可能性への影響を評価するための主要評価指標(KPI)の開発等について検討することを目的とする。 [設立:2013年2月 親組織:SG5 2015年5月活動終了予定]
<b>FG Innovation (Focus Group on Bridging the Gap: from Innovation to Standards)</b>	
議長: Ajay Ranjan Mishra (インド)	ICTイノベーションに関する成功事例の分析から、将来の研究課題につながるような標準化ギャップを検討することを目的とする。 [設立:2012年1月 親組織:TSAG]

# (参考資料) 現在活動中のJCA

## JCA

<b>JCA-SDN (Joint Coordination Activity on Software-Defined Networking )</b>	
議長: 江川 尚志 (NEC)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SDNに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。</li> <li>■ 設立時に、中国からはFG設立提案があったが、既存のSGの活動と重複するとして反対され、SG13から提案のあったJCAが設立された。</li> </ul>
<b>JCA-Res178(Joint Coordination Activity on technical aspects of telecommunication networks to support the Internet)</b>	
共同議長: Sherif GUINENA (エジプト)、Philip RUSHTON (英国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ PP-10を受ける形で、2012年のWTSA-12で発足。</li> <li>■ PP-10 決議178のインターネットを用いたテレコミュニケーションネットワークの技術的側面に関するITUの役割に関してITU内の調整を行う。</li> </ul>
<b>JCA-COP (Joint Coordination Activity on Child Online Protection )</b>	
共同議長: Ashley Heineman (米国)、Philip RUSHTON (英国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青少年のオンライン環境における悪影響からの保護に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。</li> </ul>
<b>JCA-Cloud (Joint Coordination Activity for Cloud Computing)</b>	
議長: Monique Morrow (米国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2011年12月に終了したFG Cloudを引き継ぐ形で発足。</li> <li>■ クラウドコンピューティングに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。</li> </ul>
<b>JCA-IPTV (Joint Coordination Activity on IPTV)</b>	
議長: 内藤 悠史 (三菱電機)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ FG IPTVのITU内外との調整窓口として設置。FG IPTV終了後もITU内及び他標準化機関との調整を通じてIPTV-GSIの活動を支援している。</li> </ul>
<b>JCA-CIT (Joint Coordination Activity on Conformance and Interoperability Testing)</b>	
議長: Ostap Monkewich (カナダ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 適合性、相互接続性試験に関する情報収集や要求条件等のITU内及び他標準化機関との調整を行う。</li> </ul>
<b>JCA-AHF (Joint Coordination Activity on Accessibility and Human Factors)</b>	
議長: Andrea Saks (米国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 障がい者のICTへのアクセシビリティに関する利用者ニーズの勧告への反映、ユニバーサルデザインに関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。</li> </ul>

# (参考資料) 現在活動中のJCA、GSI

## JCA(続き)

<b>JCA-IdM (Joint Coordination Activity for Identity Management)</b>	
共同議長: Richard Brackney(米国)、Jon Shamah(英国)	■ 識別情報の安全な取扱い(生成、修正、廃棄、保管等)に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。
<b>JCA-ICT&amp;CC (Joint Coordination Activity on ICT and climate change)</b>	
共同議長: Ahmed Zeddani(フランス)、Dave Faulkner(英国)	■ ICTが気候変動に及ぼす影響、他分野が気候変動に及ぼす影響のICTによる緩和、ICTを活用した気候変動の監視の観点でITU内の調整及び他標準化機関との調整を行う。
<b>JCA-IoT (Joint Coordination Activity on Internet of Things)</b>	
議長: Hyoung Jun Kim(韓国)	■ 2006年7月に設置されたJCA-NIDを名称変更して設立。 ■ Internet of Things(IoT)に関するITU内及び他標準化機関との調整を行う。

## GSI

<b>IoT-GSI (Internet of Things Global Standards Initiative)</b>	
コーディネーター: Heyuan Xu(中国)	■ Internet of Things (IoT)の進展に必要となる技術基準の策定を目的とする。
<b>IPTV-GSI (IPTV Global Standards Initiative)</b>	
コーディネーター: 川森雅仁(慶応大学)	■ 2007年12月に終了したFG IPTVの活動成果を引き継ぎ設置。 ■ IPTVに関する勧告案の作成等を目的とする。

## (参考資料) 地域グループについて(アジア・太平洋地域)

### ●ITU-T SG3(料金と会計原則) Regional Group for Asia and Oceania

アジア太平洋地域において、地域特有の課題への対応や、ジュネーブで開催されているITU-T会合に出席が難しい加盟国・企業等の意見もITU-Tでの議論に反映させることを目的としている。

回	時期	場所
1	2009年3月4日-6日	ハノイ(ベトナム)
2	2010年4月26日-28日	北京(中国)
3	2011年3月8日-11日	プーケット(タイ)
4	2012年5月28日-30日	バリ(インドネシア)
5	2013年4月8日-10日	東京(日本)
6	2014年9月2日-3日	ヤンゴン(ミャンマー)

### ●ITU-T SG5(環境と気候変動) Regional Group for Asia Pacific

アジア太平洋地域において、ジュネーブで開催されているITU-T会合に出席が難しい加盟国・企業等の意見もITU-Tでの議論に反映させることを目的としている。

回	時期	場所	備考
1	2013年12月11日	リマ(ペルー)	SG5リマ会合に合わせて実施
2	2014年9月26日	北京(中国)	第4回グリーンスタンダードウィークに合わせて実施
3	2014年12月17日	コーチ(インド)	SG5コーチ会合に合わせて実施